

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

ステキな人生をあゆむために

高等部卒業後の「学びの場」は大切

大障教新歓教研パートII

4月28日、大障教主催の新歓教研パートIIとして「高等部卒業後の『学びの場』オンライン学習会」が開催され、44人が参加しました。日本福祉大学の伊藤修毅さん、大阪障害者センターの岩谷亮さん、ほぼろスクエアの千住真理子さんが、障害のある青年にとつての「学びの場」の意義を報告しました。

もっと勉強できる場がほしい

伊藤さんは、「憲法26条が保障する『教育を受ける権利』が、障害者にとつてはあたりまえのことではなかった」と語り、教育権保障の運動の歴史から話を始めました。運動が実を結び、いま就学猶予・免除制度を用いている子どもはごくわずか。希望するすべての子どもが3年間の高等部の教育を受ける制度も整備されました。しかし伊藤さんは、「それだけで果たして



感想を出しあう参加者

『ひとしく教育を受ける権利』が整っていると言えるでしょうか」と問いかけます。特別支援学校の卒業生の進路は、実質的に「一般就労」と「福祉的就労」の二者択一。伊藤さんは、「支援学校高等部を卒業した青年たちに高等教育を実現する新しい運動が必要」と訴えました。

全国各地の保護者が中心となり、高等部卒業後の専攻科の設置を求めて、都道府県への陳情が始まりました。こうしたもと、障害者自立支援法（現在の総合支援法）の「自立訓練」を活用した学びの場ができるのではないかとというアイデアが生まれ、「福祉専攻科」が誕生しました。大阪では現在15カ所に広がっています。「青年期の学びの場を保障する必要性への理解をもっと広げていきたい」と伊藤さんは語ります。

学びの場卒業生への調査

岩谷さんは、2019年に実施した福祉専攻科卒業生の実態調査の結果を報告しました。

調査の質問項目は、①SOSが出せる、②働く意欲を持っている、③人との関わりを持てる、④意見・気持ちを表現できる、⑤折り合いがつけられる、⑥自分で選んだり、決めたりできる、の六項目を自己評価し得点化したもの。

性教育は「あわてず生きるための学び

2012年に大阪ではじめて高等部卒業後の学びの場「ほぼろスクエア」が誕生しました。元教員の千住さんは、「ほぼろスクエア」で「グッドライフ」（進路）と

「二つとからだの学習」（性教育）の授業を担当しました。千住さんは、「進路」も「性教育」も幸せに生きるための学びと話します。

性教育について千住さんは、「男性・女性のからだ、命の誕生、おつきあいと性交、妊娠、避妊、性感染症、妊娠、人工中絶などの科学を学ぶことが大切」と力説。「学生はみんな熱心に授業を受け、

調査の結果、「学びの場で大切にしている力が、おおむね達成されていることがわかりました。特に自己選択・自己決定の力が高得点だったことは大きいと思います」と岩谷さん。学びの場のなかで、小手先の技術や技能でなく、自分らしい人生をひらく力を身につけてほしい」と話しました。

性教育を学ぶことで気持ちが落ち着いてくる」と話します。千住さんは、「快」がわかることで「不快」がわかり、「不快」なことにイヤと言う力が育まれると話します。授業では、「快」の体験としてハンドマッサージやホットタオルにとりくんでいます。ホットタオルの実践では、過去のいじめなどで人への不安感を持っている学生は、他人からタオルを受け取れない場合があります。「3ヶ月後、1年後にその学生がどう変化していくかを見たいです。人間関係を築きながら『快』を体験することが大事」と語りました。

参加者の感想

- 自分らしく生きていく力や「快」がわかること、自分で決める力など、明日からの実践で見つめ直して行きたいです。
- 高等部卒業後に「学ぶ場」があることの大切さを感じました。
- 就労が大きく言われ、キャリア教育としての資質や能力ばかりが目目されているが、自分の「好きだ」「これほしい」という思いを育むことでその後の生き方につながってくると思いました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/>

Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記部のニュース

日本国憲法は5月3日、施行から74回目の記念日を迎えました。新型コロナウイルス感染症の急拡大に歯止めがからず、国民の命と暮らしが脅かされています。日本国憲法の三原則である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の理念を守り生かす政治の実現が重要になっていきます。

衆院憲法審査会で6日、与党提出の改憲のための国民投票法改正案が採決され、賛成多数で修正のうえ可決されました。この与党案は、そもそも安倍晋三前首相が2020年と期限を区切って自衛隊明記の9条改憲を表明した翌年の18年に改憲議論を進める「呼び水」として提出されたものです。菅首相は3日付「産経」のインタビューで、憲法9条への自衛隊明記や緊急事態条項の創設などを盛り込んだ自民党の改憲4項目をたたき台にして、「それらを基に議論を進めてもらう」と明言していました。首相が国会での法案の採決を求め、改憲議論を仕かけることは、三権分立にも憲法尊重擁護義務（憲法99条）にも違反する異常な行爲です。3日付の世論調査、「朝日」では憲法9条を変えない方がよいが61%、共同通信の調査では改憲議論を急ぐ必要はないが54%を占め、「安倍・菅改憲」を国民が求めていることは明白です。

ましてや、政権のコロナ対策の無為無策を棚上げし、コロナの感染拡大を「緊急事態」だとして、国民の基本的な人権を停止する「緊急事態条項」を憲法へ創設するなどのもつてのほかです。軌を一にした、吉村知事の「私権制限」についての発言も含めて、政治が今なすべきことは、国民の不安につけ込んだ改憲議論では断じてありません。

恒例！新転任歓迎会に26人、 新転任のみなさんと楽しいひととき！ 交野支援学校四條畷校分会

新しい仲間を迎え、各分会での趣向を凝らした新歓のとりくみ(その2)



アットホームな雰囲気
で
新年度スタートしました！

四條畷校分会ではここ数年、年度末と年度初めに集まりをもっています。昨年度からはこまめに消毒したり密にならないように配慮したりと、コロナ対策を徹底しながら行っています。

まず3月25日、お昼の休憩時間を利用して恒例の年度末分会集会を行いました。今回もお休みの人を除くほぼ全員が集まりました。はじめに定年退職される先生へ、組合員として定年を迎えられた尊敬と感謝とねぎらいの気持ちから花束をお

ともに合格めざして！採用試験に向けた学習会

大教組が後援する「めざそう！仲間とともに なにわの教員採用選考学習会」(略称「めざとも」)が今年も大阪府教育会館(たかつガーデン)を会場におこなわれます。

採用選考を受けるメンバーや正規採用された「めざとも」卒業生などで実行委員会をつくり、学習会の準備をすすめています。各職場の分会宛てに「申し込みはがき」のついた案内をお送りしています。お近くの組合役員の方まで気軽にお知らせください。(掲載のQRコードでも申し込みができます)

尚、新型コロナウイルス感染防止の観点から、中止になる場合がありますので、掲載のQRコードでご確認ください。

めざそう！！仲間とともに なにわの教員採用選考学習会

第1回 5月15日(土) ※中止

第2回 6月12日(土) 13:30～

会場：大阪府教育会館8階「たかつ」

参加費：各回1000円

内容：面接練習、合格体験談など



めざともチラシ



めざとも申込み

大障教・府高教・市高教が主催する「教員採用選考テスト勉強会」もあります。今年度は、コロナ感染症対策として、会場参加については定員を設けており、先着順の事前申し込み制となっていますので、早めにお申し込みください。講師で毎日がんばっているみなさん、いっしょに勉強して合格をめざしましょう！※5/28の会場開催は中止になりました。

大好評！採用試験のことなら藤本先生 教員採用選考テスト勉強会

第1回 5月28日(金) 18:30～ ※オンラインのみ

第2回 6月4日(金) 18:30～

会場：エル・おおさか7階「709」

※会場定員54名(先着順)

参加費：無料

内容：「教育法規」「教育関連時事問題」「論文・面接のポイント」



教員採用選考
テスト申込み



渡しました。次に、分会長が先日行った分会要求書に基づく校長交渉の内容を報告しました。そのあとは、いつものように「ひとり一言」で順に発言しました。ここ数年、特に若い先生方から子どもについての熱い思いが語られ、とても頼も

しく感じました。新年度のとりくみについては、毎年お迎えにいく初任者の辞令交付式は昨年同様中止となり残念でしたが、4月1日のとりくみとして、今年度も「四條畷校へようこそ」という分会員の歓迎の言葉を掲載した、ピンク色

の歓迎チラシを机上に配布しました。4月2日の昼休みには、新規採用を含む13人の新転任のみなさんと分会員13人の参加で、歓迎会を行いました。四條畷校分会としては、6回目の新転任歓迎会で、今年もたくさん

の歓迎は、大島分会のあいさつから始まり、新転任のみなさんと組合員が入り混じった自己紹介が続きました。「四條畷校の良いところ」を織り込んだ自己紹介はとても楽しく、アットホームな雰囲気

で、教師生活のスタート、新しい職場でのスタート、そしてまた新たな子どもたちを迎え、新たな学校生活のスタートと、いろんな想いを交流することができました。短い時間ではありましたが、2021年度のスタートとして、とても良いとりくみができたとおもいました。(四條畷校分会 鈴木浩司)